



医療安全管理室

発刊 2021年1月 VoL.42

医療安全推進情報 広報「安進くん」

明けましておめでとうございます。今年も医療安全活動にご協力をお願い致します！

<医療安全研修会・活動のお知らせ>

安全文化の醸成！

10月2日(金)「10月3日はハイリスク薬の日」研修会

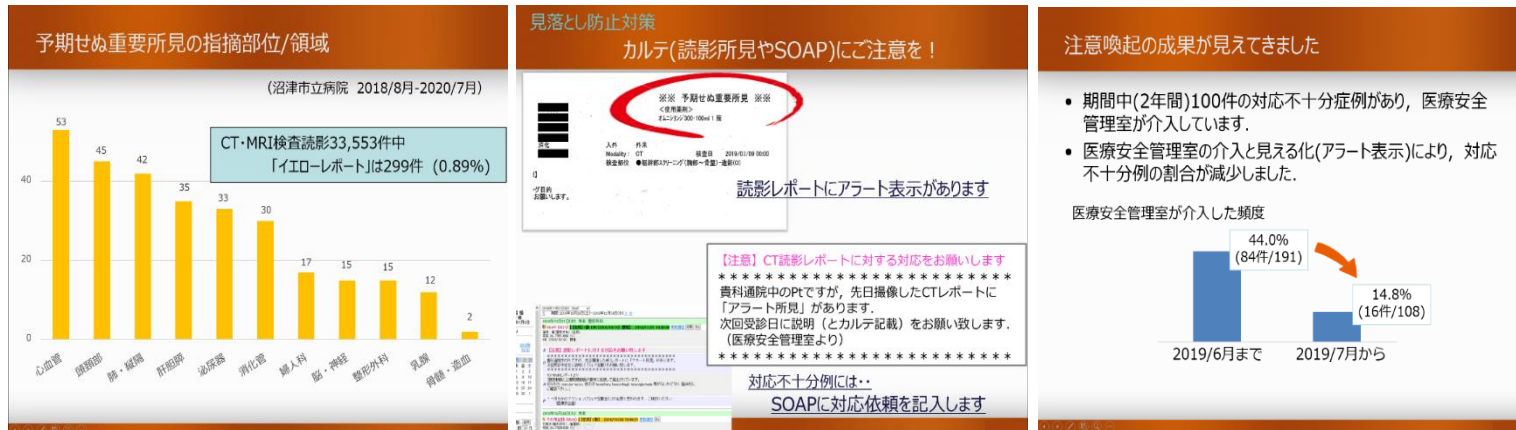
「沼津市立病院のハイリスク薬」を改定しました！ -500品目から60品目注射薬のみに限定-
厚生労働省の通知資料【特に安全管理が必要な医薬品(要注意薬)】〔注射薬に関する特記事項〕に記載された医薬品から「心停止」「呼吸停止」等の危険性が高い注射薬を「沼津市立病院のハイリスク薬」としました。

<研修テーマ>ハイリスク薬の改訂について <講師>近藤薬剤部長 医薬品管理責任者
全職員対象に動画視聴研修会を開催しました。ハイリスク薬は「誤った投与の仕方をした場合に、患者の健康状態に対し死亡を含めた深刻な影響をもたらす薬剤」であり、使用上及び管理上、特に安全な取り扱いに留意が必要です。多職種によるチーム医療で薬物治療が安全におこなわれるよう、ご協力をお願い致します。



「予期せぬ重要所見」を有する画像読影レポート(イエローレポート)への介入

医療安全管理室では画像読影の段階で「予期せぬ重要所見」が認められた報告書を「イエローレポート」として介入追跡し、読影所見の確認漏れを防いでいます。第22回日本医療マネジメント学会 in 京都で、2年間の介入成果を福長医療安全管理室長が発表しました。「予期せぬ重要所見」はあらゆる臓器に存在し、関心領域以外に治療対象病変が偶然診断される可能性があります。報告書の確認が確実にできるシステムの構築と臨床医への継続的な注意喚起が重要と考えられました。



誤接続防止目的で経腸栄養分野の小口径コネクタ製品が国際規格(ISO80369-3)に変更となります

コネクタの誤接続による事故防止のため、神経麻酔分野におけるコネクタ製品の国際規格変更につき、経腸栄養分野におけるコネクタ製品が変更となります。当院は2021年2月中旬に、新規格製品に変更を予定しています。経腸栄養分野における製品は「紫色」となります。1月21日(木)、22日(金)に説明会を実施します。



<医療安全作業部会活動の紹介>



【ハイリスク薬チーム】

2人連続型ダブルチェック(2人が連続して同じ手順で1回ずつ独立性をもって確認)手順監査ラウンドを11月6日(金)・12日(金)に実施しました。6月の監査ラウンドより、正しい手順で実施できている部署が殆どでした。

- 「2人連続型ダブルチェックで準備する薬剤」を改訂しました！
- ①当院のハイリスク薬 ②各部署の常備薬
 - ③スライディングスケールの薬剤 ④混注する薬剤が全量でない場合
- 上記薬剤は2人連続型ダブルチェックで確認して準備しましょう。



【身体抑制チーム】

身体抑制カンファレンス用のSOAPセットを主任会中心に作成しました。前回監査時に身体抑制カンファレンスの記録忘れが目立ちましたが、SOAPセットによって、記録の簡便化が図れたと思います。是非ご利用ください。2021年1月に使用状況を含め、監査ラウンドを実施します。

【転倒転落防止対策チーム】

転倒転落防止に役立つような車椅子と歩行器の使い方、「転ばぬ先の知恵」～車椅子・歩行器編～を総合フロアの広告用モニターにて、1月29日まで放映中です。日常の中でよくある場面を紹介しています。お時間を見つけて、是非ご覧ください。

車椅子



立つときは
フットレストを
上げてから！

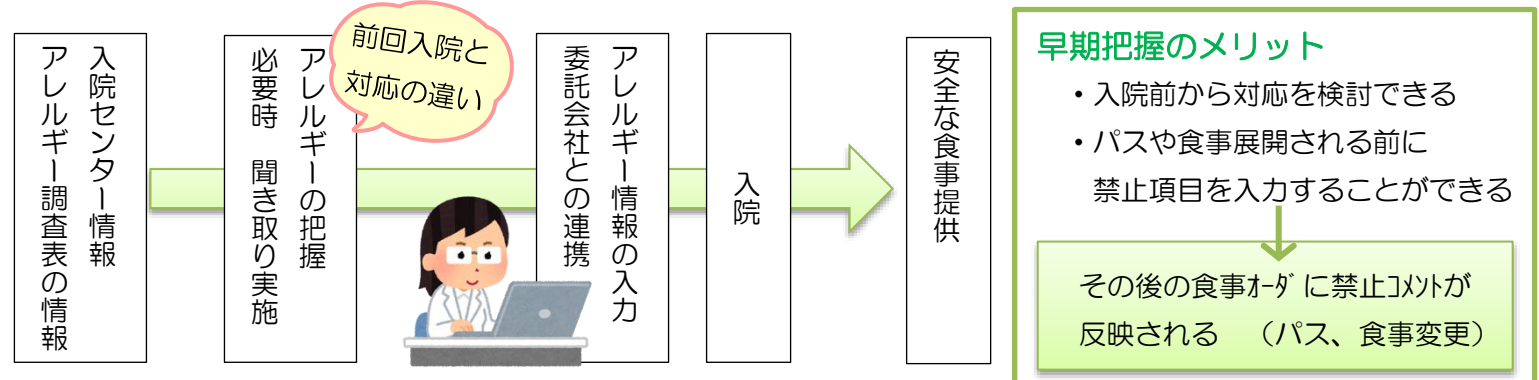


フットレストを踏んだままだと転びます

<教えて！あなたの職場の医療安全> =栄養管理科=

今回から持ち回りで活動内容を紹介します♪

入院センター開設と同時に、アレルギー調査表の運用を開始しています。アレルギー食材の提供は、重大なインシデントになり得るため、入院前から情報を得ることは、とても有益です。



<嗜好とアレルギーの違い>

嗜好は対象の食材だけを禁止し、アレルギーは原材料・製造ルートを含めて禁止します。

例) えび禁



厨房内での対応範囲が異なるため、嗜好/アレルギーの区別を、できるだけ明確にしてください。大豆禁、小麦禁に関しては栄養士が聞き取りしますので、栄養管理科までご連絡ください。よろしくお願いします。

